



令和 5 年 5 月 31 日

総合政策局国際政策課

ITF(国際交通フォーラム)交通大臣会合 2023 が開催されました。

5月24日(水)~5月26日(金)、ITF交通大臣会合2023が「持続可能な経済を実現するための交通」をテーマとしてドイツ・ライプチヒで開催され、我が国からは水嶋国土交通審議官が首席代表として出席しました。

1. 日程 : 令和5年5月24日(水)~5月26日(金)
2. 場所 : ドイツ・ライプチヒ市
3. テーマ : 「持続可能な経済を実現するための交通」
4. 参加者 : 国土交通省 水嶋国土交通審議官 他
5. 主なプログラム :

5月24日	全体会合開会式、大臣ラウンドテーブル
5月25日	ウクライナに関する特別大臣ラウンドテーブル、大臣理事会、公開大臣会合
5月26日	パネルセッション

6. 結果概要 : 別紙のとおり

※国際交通フォーラム(International Transport Forum: ITF)は、加盟66ヶ国の交通担当大臣、交通関連企業の代表、学識経験者等が集まり、世界全体にとって戦略的に重要なテーマを取り上げ、交通政策に関する方向性を打ち出すOECD傘下の国際機関です。毎年5月、ドイツのライプチヒにて全加盟国による大臣級会合が開催されています。

【お問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 国際政策課 : 木村、馬路

TEL : 03-5253-8111 (内線 25907) / 直通 : 03-5253-8312

会議の概要**1. ウクライナに関する特別大臣ラウンドテーブル**

各国大臣級が参加し、ウクライナにおける交通分野の持続可能な復興に向けて、ITF 加盟国、及び ITF が果たす役割等について議論が行われました。

我が国は、引き続き G7 を始めとする国際社会と連携しながらウクライナの人々に寄り添った支援をしていくこと、また我が国が過去約 10 年間に渡り、東日本大震災からの復興に取り組んだ経験は、より強靱で、持続可能な形でウクライナの交通・物流網を再構築することに貢献できること、来月我が国で開催する G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合の中で、ウクライナ復興に向けた G7 の連帯を確認し、持続可能な発展に資する交通インフラの復興等についてさらに議論を深める予定である旨、発言しました。

2. 大臣理事会

主な議題と結果は以下のとおりです。

① 新規加盟国の承認

新たにブラジル・コスタリカが ITF に加盟することが承認されました。

② 議長国の承認

2026 年にアゼルバイジャンが議長国に就任することが承認されました。

③ ITF 一般規則の改訂について、議長国英国より、来年のサミットでの改正案承認に向けて引き続き改訂作業を継続する方針である旨、報告がありました。**3. 公開大臣会合**

「交通のグリーン化によって持続可能な経済を促進する」というテーマの下、アフリカ連合、自動車、航空業界からのゲストスピーカーの発表の後、各国の首席代表による議論が行われました。

我が国は、自動車、航空の脱炭素化のほか、国際海運の脱炭素化の重要性に言及し、我が国はゼロエミッション船の開発や港湾の脱炭素化に取り組んでいること、GHG 削減戦略の改定が予定されている本年 7 月の IMO での議論が重要である旨、発表しました。加えて、来月我が国で開催される G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合に触れ、会合でも脱炭素化に向けた交通政策等について議論する予定であることを発表しました。

4. 大臣ラウンドテーブル：交通と気候変動：COP27 からの前進

我が国からは、日本郵船株式会社 河野副社長執行役員が参加し、海運業界における脱炭素化や気候変動への対応について各国政府や国際機関の代表、及び民間企業等の参加者と議論を行いました。



大臣理事会に参加する水嶋国土交通審議官



大臣理事会の様子